

(4) 福祉施設

1) 高齢者支援施設

① 概要

本市には、高齢者支援施設として、多世代交流センター等が6か所、その他高齢者支援施設が1か所あります。

多世代交流センターは、高齢者の健康の増進や子ども世代との交流など、生きがいの充実や仲間の輪を広げる場であり、会議室、和室、娯楽談話室などがあります。また、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきは、趣味を通じた仲間づくりや、社会参加や社会貢献に意欲のある高齢者の支援を行っています。いずれの施設も指定管理者制度を導入しています。

多世代交流センターと高齢者活動支援センターは、いずれも、高齢者施策の再構築に伴う旧老人福祉センターの機能見直しにより、平成27年(2015年)4月から運営を開始しています。

その他高齢者福祉施設であるシルバーワークプラザでは、公益社団法人茨木市シルバー人材センターにより、健康で働く意欲を持った高齢者が、経験と技能を生かした活力ある地域社会づくりに参加するための支援などを行っています。

平成以降に建築された建物が多いものの、令和7年(2025年)末現在、福井多世代交流センターは築50年以上、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきは、築45年以上が経過しています。

表 3-2-7 高齢者支援施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
多世代交流センター等									
1	福井多世代交流センター	東福井二丁目23番22号	単独	指定管理	714	S48	52	RC・1	○
2	西河原多世代交流センター	西河原二丁目17番4号	複合	指定管理	※1 768	H1	36	RC・2	○
3	葦原多世代交流センター	新和町21番27号	複合	指定管理	1,028	H6	31	RC・2	○
4	沢池多世代交流センター	南春日丘五丁目1番8号	複合	指定管理	※1 805	H9	28	RC・2	○
5	南茨木多世代交流センター	東奈良三丁目16番14号	複合	指定管理	※1 989	H16	21	RC・2	○
6	高齢者活動支援センターシニアプラザいばらき	桑田町24番21号	単独	指定管理	835	S54	46	RC・1	○
その他高齢者支援施設									
1	シルバーワークプラザ	東奈良一丁目4番1号	単独	※2	700	H5	32	S・2	○

※1民間事業者に貸付けしている面積を除く

※2シルバーワークプラザは公益社団法人茨木市シルバー人材センターが使用

② 施設位置図

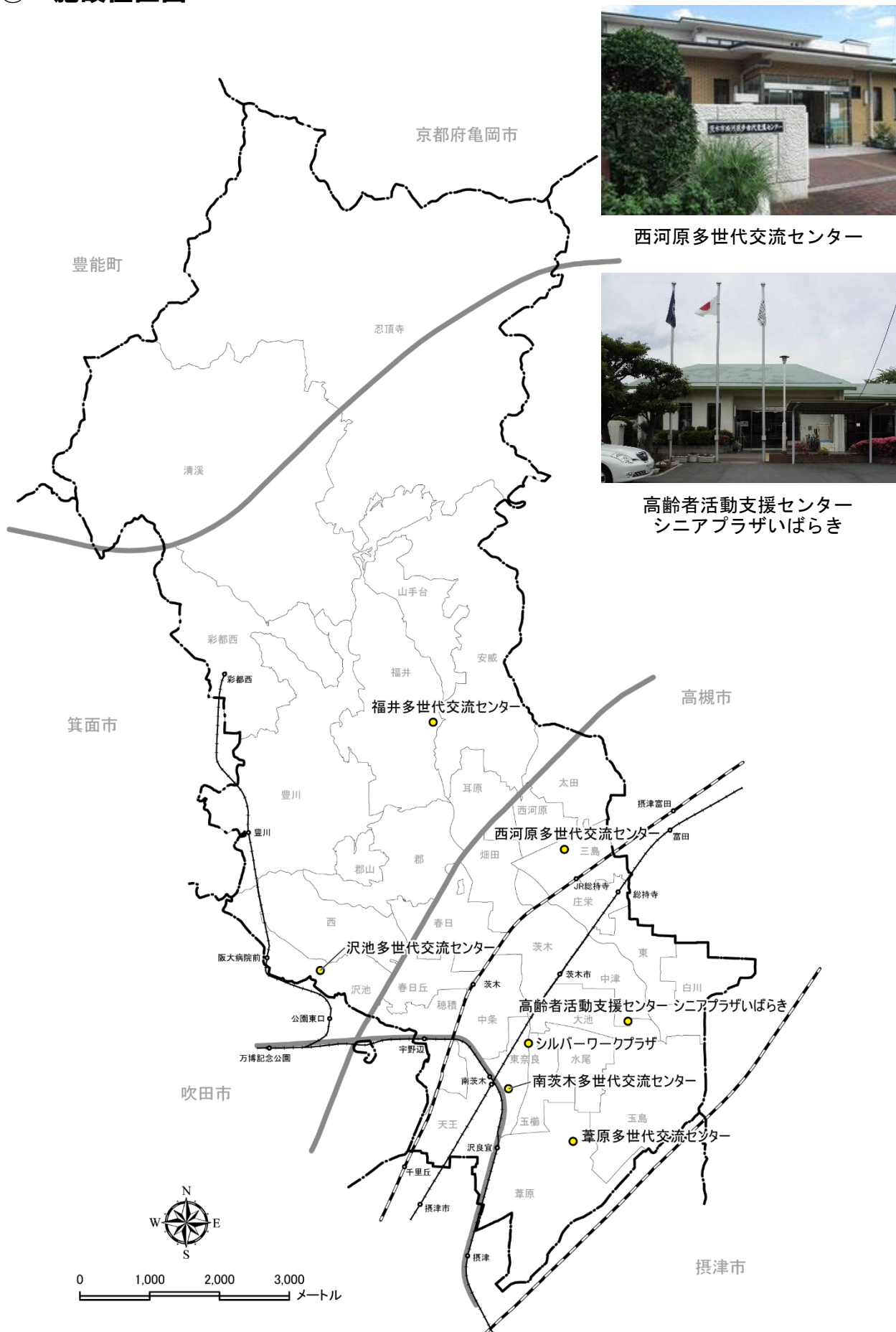


図 3-2-42 対象施設位置図（高齢者支援施設）

③ 利用の状況

令和6年度（2024年度）の利用者数をみると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約2万7千人、南茨木多世代交流センターで約2万2千人などとなっています。

貸室の稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）をみると、南茨木多世代交流センターは5割以上となっています。

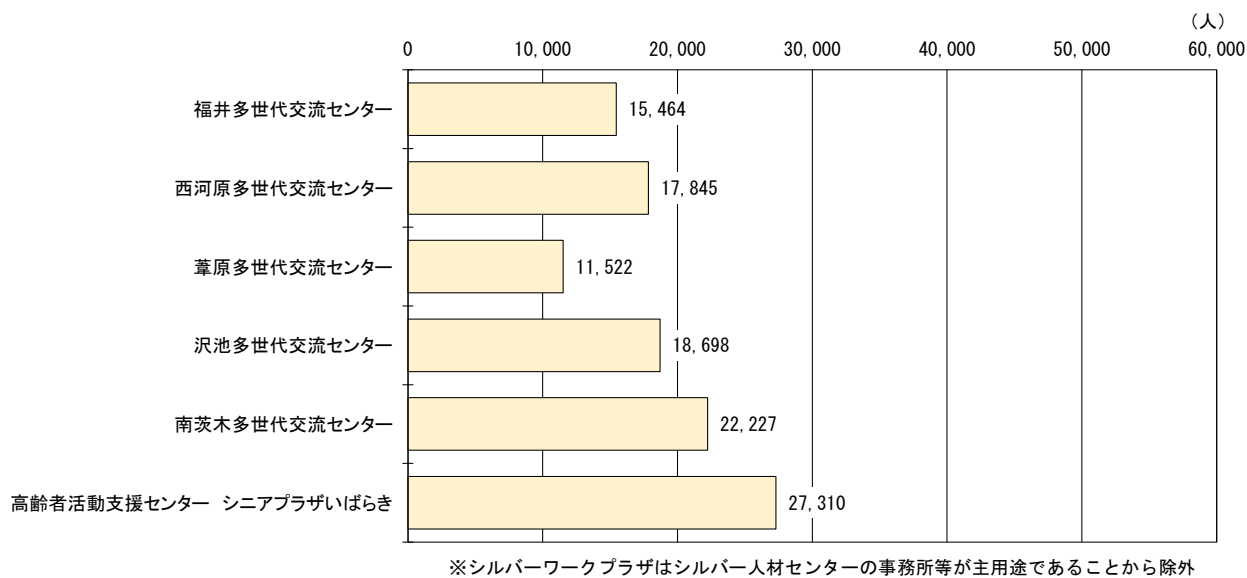


図 3-2-43 施設の利用者数（令和6年度（2024年度））

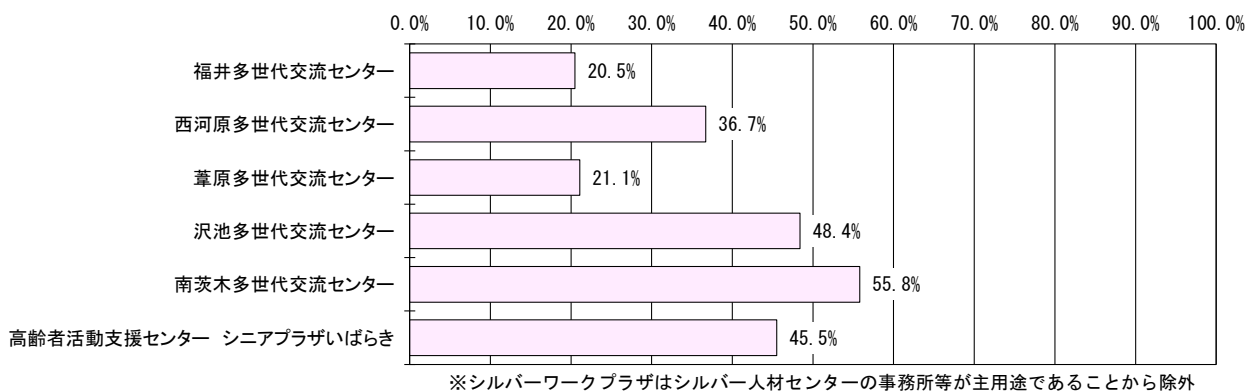


図 3-2-44 貸室の稼働率（令和6年度（2024年度））

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、南茨木多世代交流センターで約4千万円となっています。指定管理者制度を導入している施設では指定管理料の占める割合が高くなっています。

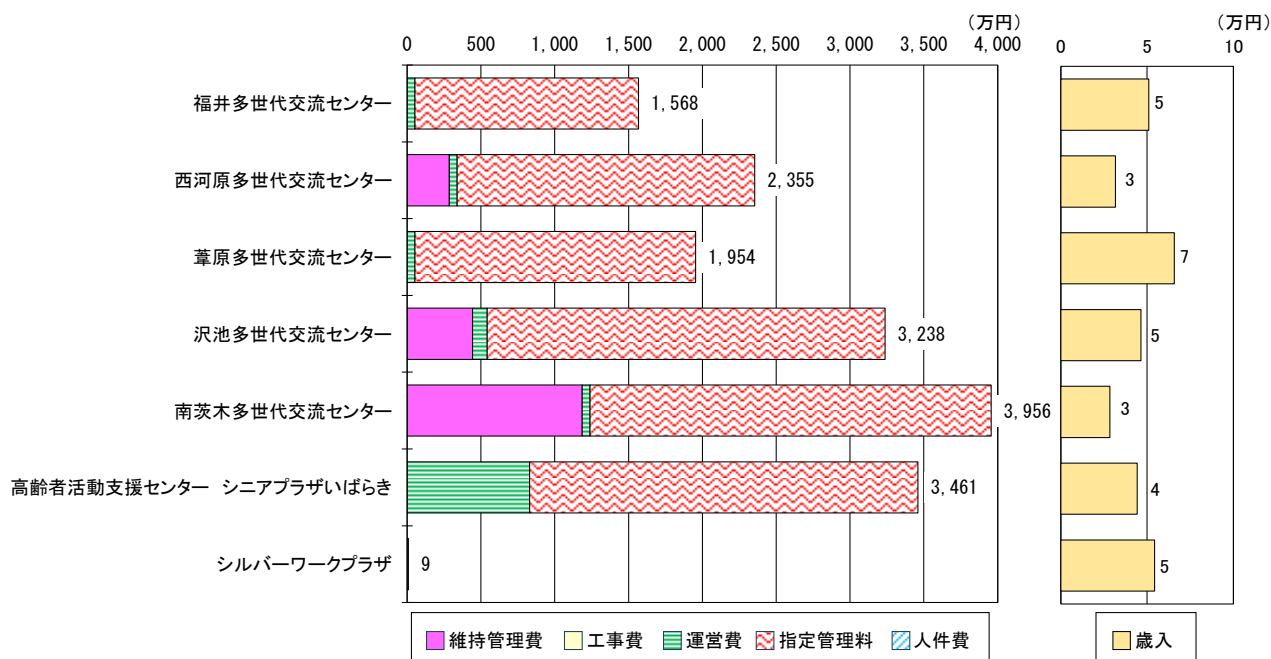


図 3-2-45 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約4万1千円、沢池多世代交流センターと南茨木多世代交流センターで約4万円などとなっています。

また、利用者1人あたりで比較すると、南茨木多世代交流センターが約1,800円、沢池多世代交流センター、葦原多世代交流センターが約1,700円となっています。

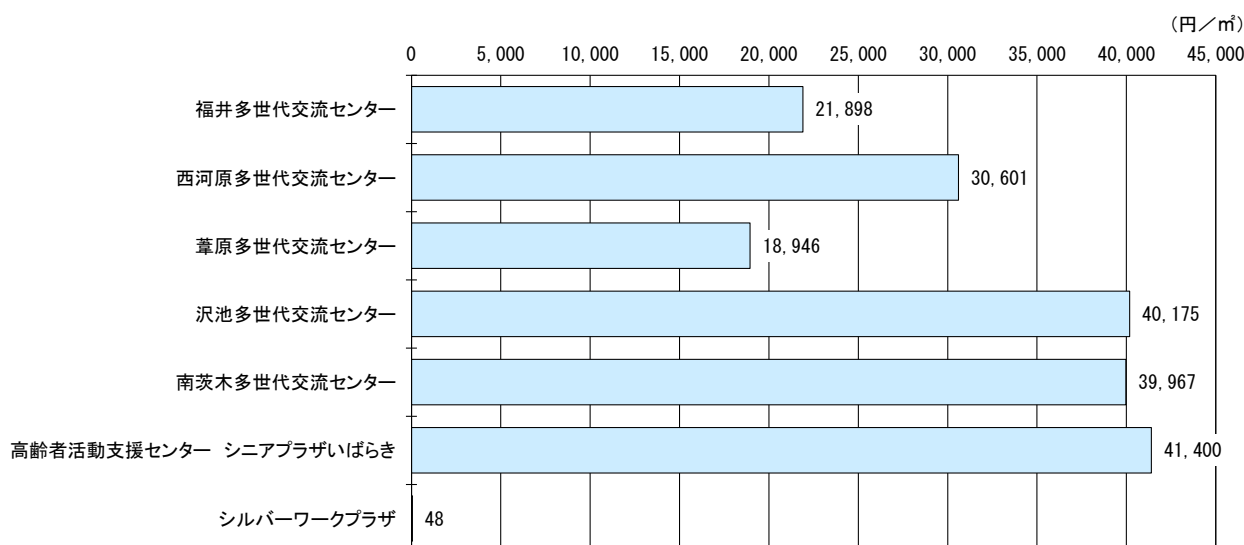
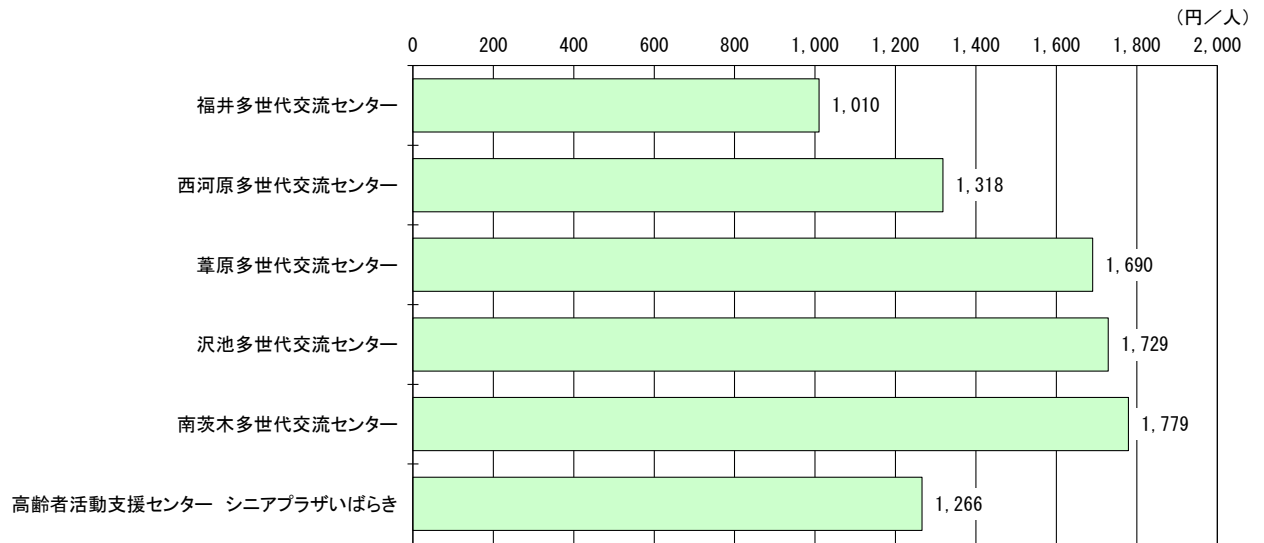


図 3-2-46 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

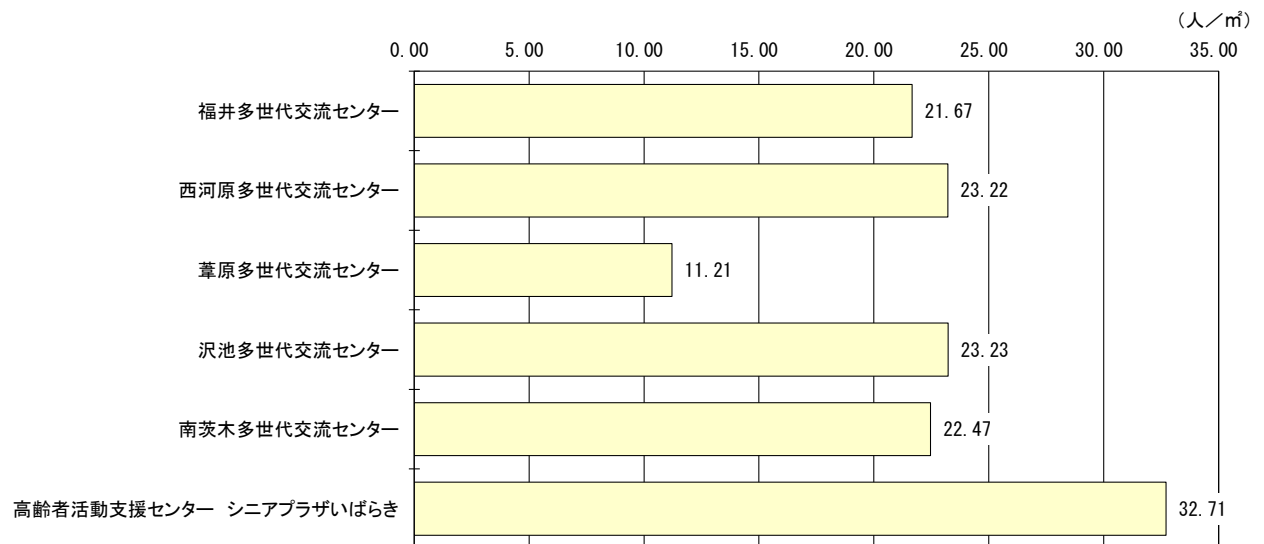


※シルバーワークプラザはシルバー人材センターの事務所等が主用途であることから除外

図 3-2-47 利用者1人あたりの市負担コスト (令和6年度 (2024年度))

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積1㎡あたりの利用者数をみると、高齢者活動支援センターシニアプラザいばらきで約33人となっています。



※シルバーワークプラザはシルバー人材センターの事務所等が主用途であることから除外

図 3-2-48 延床面積1㎡あたりの利用者数 (令和6年度 (2024年度))

2) 障害福祉施設

① 概要

本市には、障害福祉施設が3か所あります。

障害者就労支援センターかしの木園では、利用者の企業等への就労や、就労の継続を図るために、職場体験等の活動の機会の提供や就労に必要な能力の向上訓練、障害者が雇用されることに伴い生じる問題に関する相談や助言等の支援を行っています。

障害者生活支援センターともしび園では、身体能力、日常生活能力の維持、向上を目的に、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の支援や創作的活動の機会の提供、機能訓練などのほか、障害者の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や一時的な休息のために、日中における見守り等を行っています。

障害福祉センターハートフルでは、障害者やその家族の様々なニーズに対応する施設として、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の支援や創作的活動の機会の提供、理学療法士による機能訓練や社会適応訓練、機械・介護入浴サービス、障害者が気軽に参加できる様々な講座の実施など、在宅障害者への支援を行っています。

いずれの施設も平成25年度（2013年度）から指定管理者制度を導入しています。

表 3-2-8 障害福祉施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
障害福祉施設									
1	障害者就労支援センター かしの木園	春日一丁目15番22号	単独	指定管理	1,162	S57	43	RC・4	○
2	障害者生活支援センター ともしび園	西穂積町8番2号	単独	指定管理	1,992	S63	37	RC・2	○
3	障害福祉センター ハートフル	片桐町4番26号	複合	指定管理	4,104	H8	29	RC・4	○



障害福祉センターハートフル



障害者生活支援センターともしび園

② 施設位置図

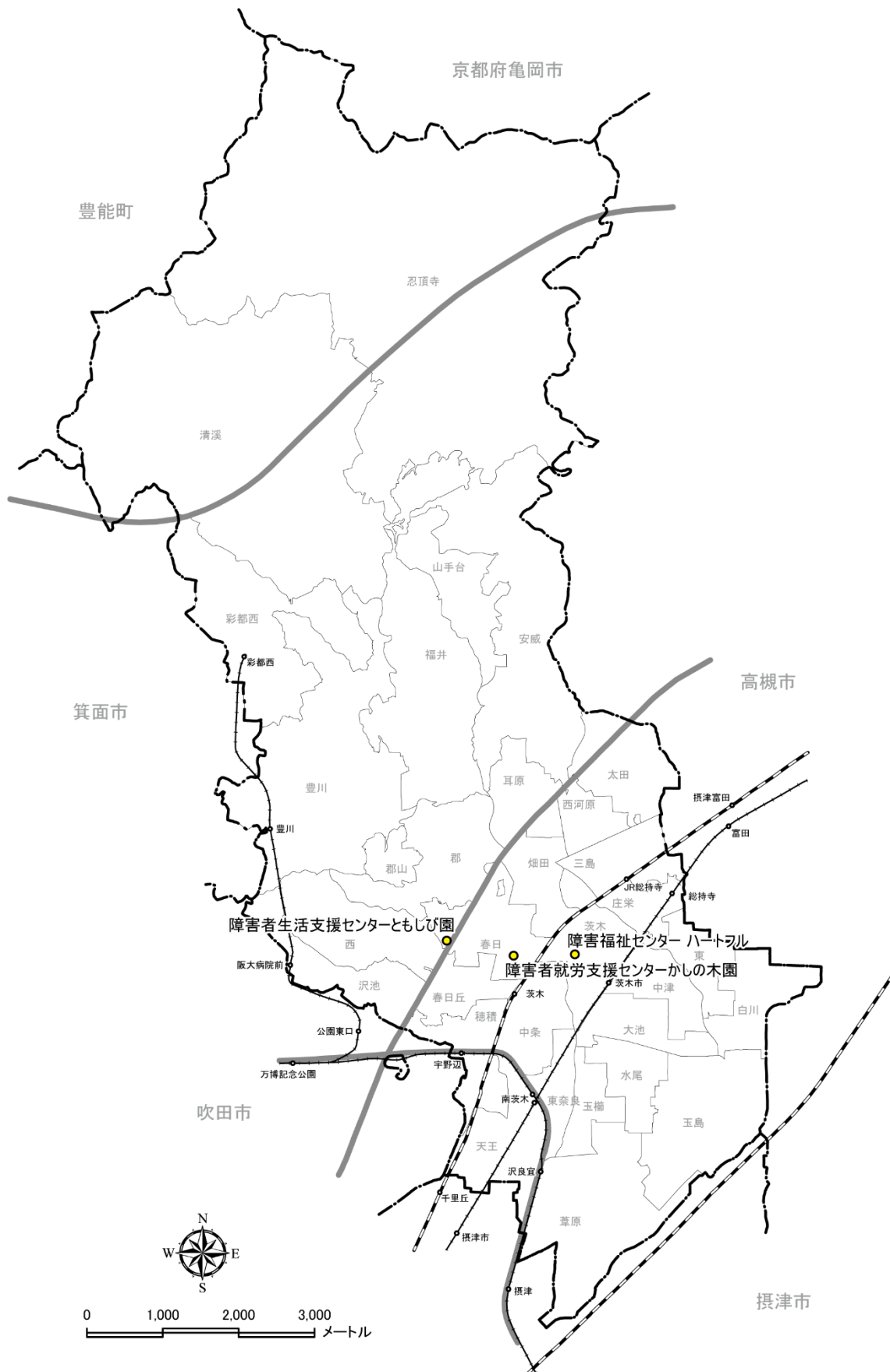


図 3-2-49 対象施設位置図（障害福祉施設）

③ 利用の状況

令和6年度（2024年度）の各事業の延べ利用者数をみると、障害者就労支援センターかしの木園で約3千人、障害者生活支援センターともしび園で約8千人、障害福祉センターハートフルで約7千人となっています。

また、障害福祉センターハートフルの貸室の稼働率（総利用可能コマ数に対する総利用コマ数の割合）は約30%となっています。

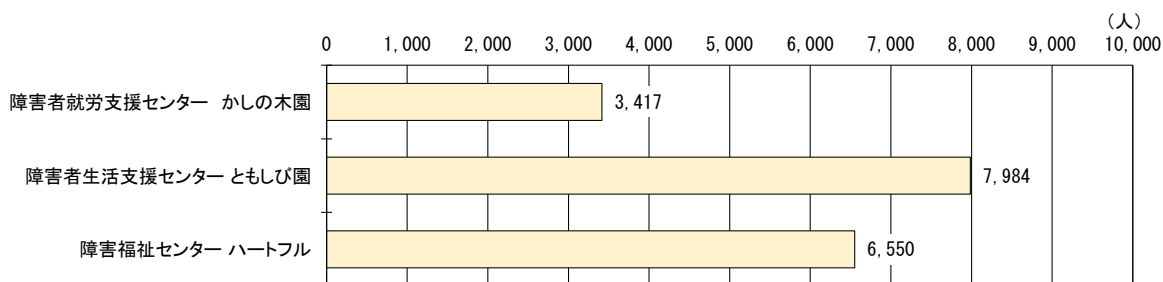


図 3-2-50 施設の利用状況（令和6年度（2024年度））

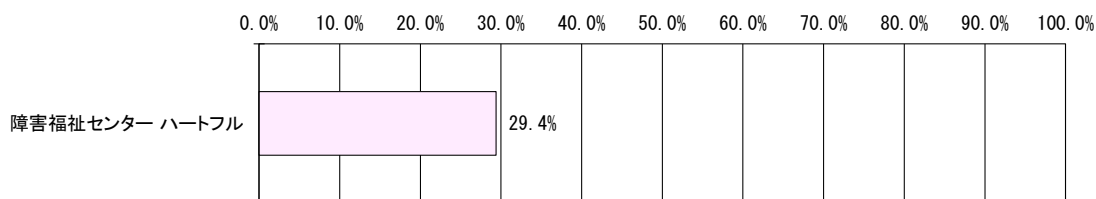


図 3-2-51 貸室の稼働率（令和6年度（2024年度））

④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、障害福祉センターハートフルで約1億4千万円、障害者生活支援センターともしび園で約8千万円となっています。

いずれの施設も指定管理者制度を導入しており、指定管理料が大部分を占めています。

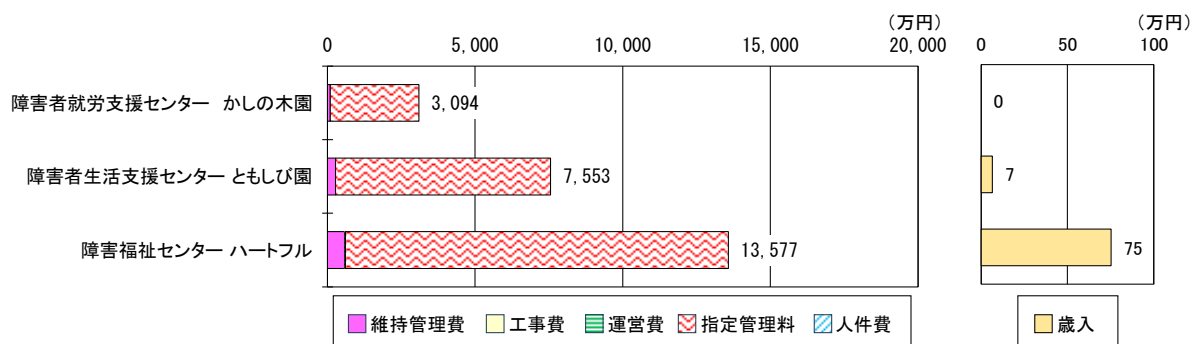


図 3-2-52 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、障害者生活支援センターともしび園が約3万8千円と最も高くなっています。また、利用者1人あたりで比較すると、障害福祉センターハートフルが約2万1千円となっています。

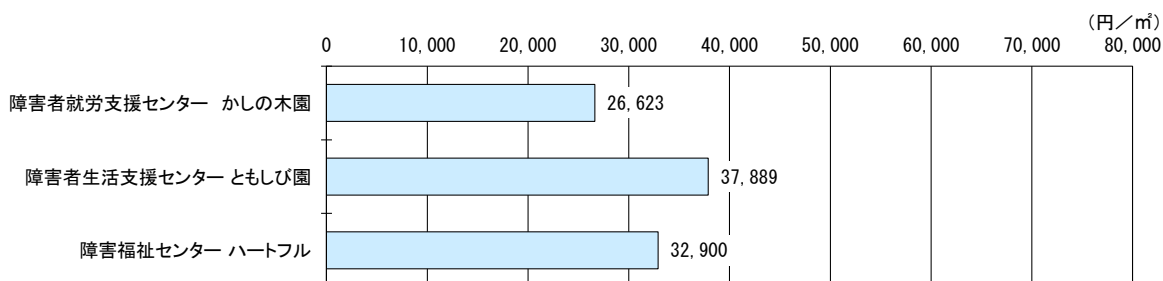


図 3-2-53 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

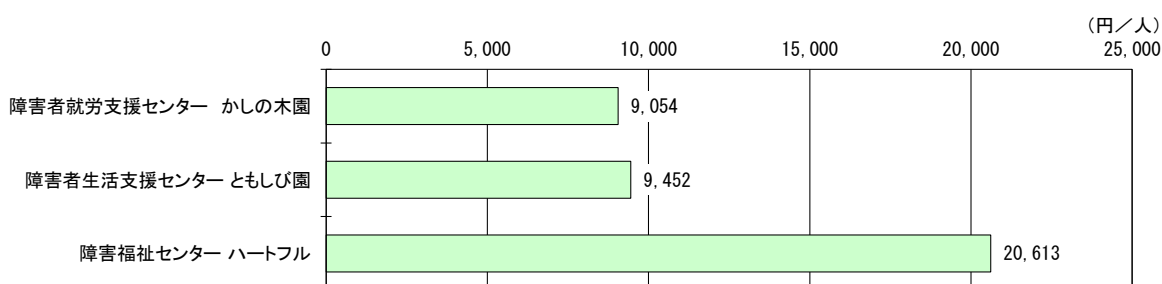


図 3-2-54 利用者1人あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

⑥ 単位あたりの利用状況

延床面積1㎡あたりの利用者数をみると、障害者就労支援センターかしの木園が約3人、障害者生活支援センターともしび園が約4人、障害福祉センターハートフルが約2人となっています。

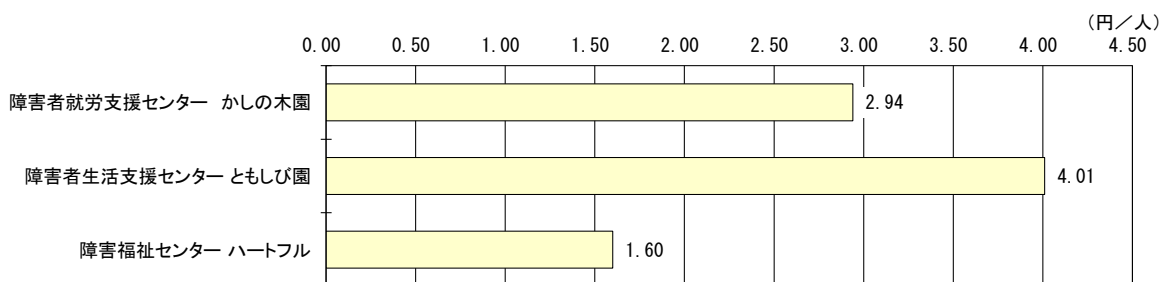


図 3-2-55 延床面積1㎡あたりの利用者数（令和6年度（2024年度））

3) 保健医療施設

① 概要

本市には、保健医療施設として、保健医療センターがあります。

保健医療センターでは、指定管理者制度を導入し、成人向けの健診（若年健康診査、特定健診等）やがん検診、健康相談のほか、食育事業等を実施しています。

また、夜間・休日における内科及び休日（日曜日、祝日のみ）の歯科にかかる応急診療を行うため、附属急病診療所を設けています。

表 3-2-9 保健医療施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
保健医療センター									
1	保健医療センター	春日三丁目13番5号	複合	指定管理	6,165	S59	41	RC・3	○



保健医療センター



保健医療センター附属急病診療所

② 施設位置図

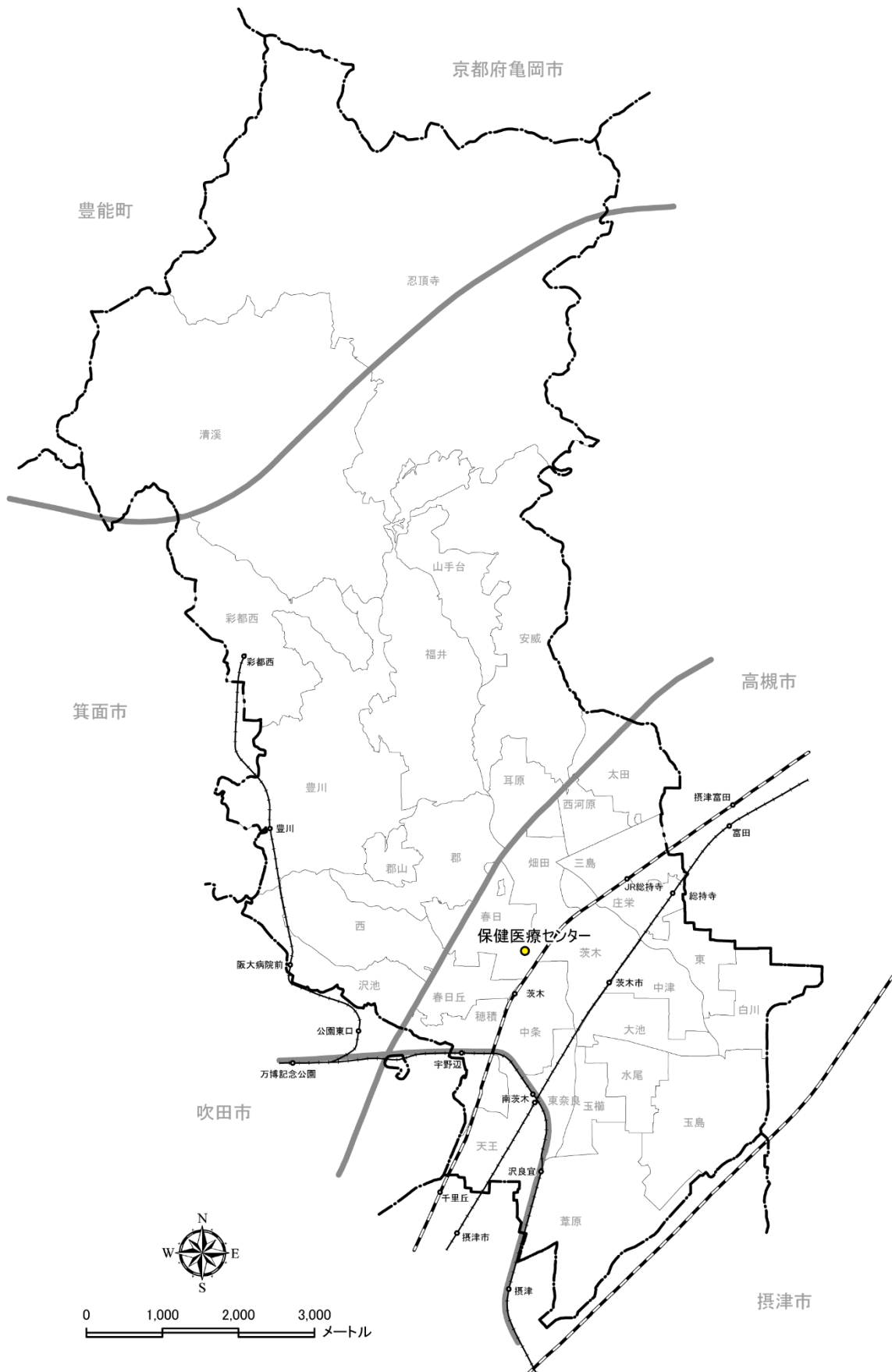


図 3-2-56 対象施設位置図 (保健医療施設)

③ 利用の状況

附属急病診療所の利用者数の推移をみると、年度によってバラつきはあるものの、平成 22 年度（2010 年度）以降減少傾向にあります。平成 25 年度（2013 年度）から高槻島本夜間休日応急診療所において、医療資源の集中投資による広域的な小児初期救急を開始したことに伴い、平成 25 年度（2013 年度）末をもって急病診療所での小児科診療を廃止したことから、平成 26 年度（2014 年度）以降、利用者数が大きく減少しており、令和 6 年度（2024 年度）では 2,359 人となります。

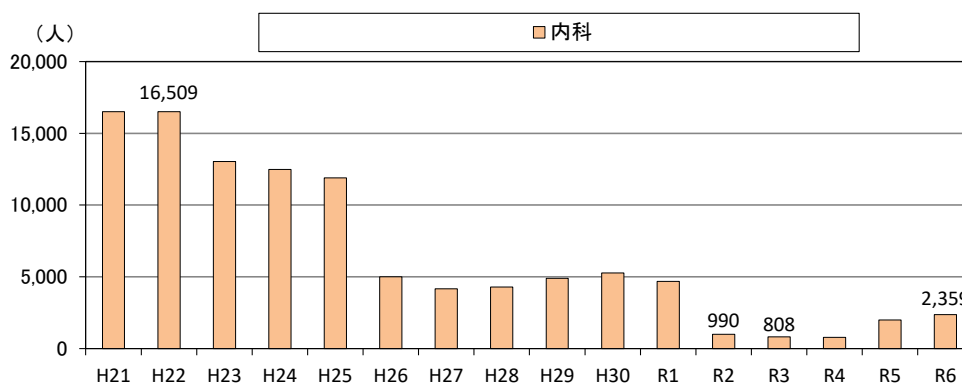


図 3-2-57 急病診療所利用人数の推移

④ 施設に関する総コストの状況

令和 6 年度（2024 年度）の施設に関する総コストをみると、保健医療センターで約 3 億 3 千万円となっており、指定管理者制度を導入していることから、指定管理料が過半を占めています。

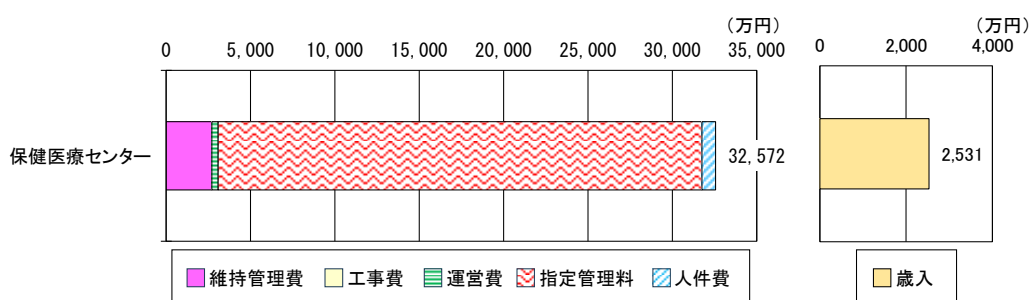


図 3-2-58 施設に関する費用と内訳（令和 6 年度（2024 年度））

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、保健医療センターでは、延床面積1㎡あたりで見ると、約4万9千円となっています。

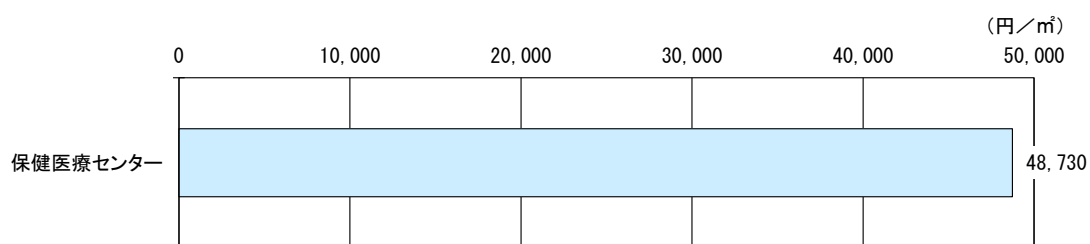


図 3-2-59 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））

4) その他福祉施設

① 概要

本市には、地区保健福祉センターが5カ所あります。

地区保健福祉センターは、こどもから大人まで世代を問わず、福祉や健康、地域の困りごと等を聞き支援につなげる窓口として、市内5カ所に設置されています。

いのち・愛・ゆめセンター等の関係機関と情報共有を行いながら、各地域の特色に合わせたきめ細やかな支援に取り組んでいます。

表 3-2-10 その他福祉施設の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(m ²)	主要な建物の情報 (R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
地区保健福祉センター									
1	中央保健福祉センター	片桐町4番26号	複合	直営	152	H8	29	RC・4	○
2	東保健福祉センター	西河原二丁目17番4号	複合	直営	137	H10	27	RC・1	○
3	西保健福祉センター	南春日丘五丁目1番8号	複合	直営	167	H9	28	RC・2	○
4	南保健福祉センター	新和町21番27号	複合	直営	694	H6	31	RC・2	○
5	北保健福祉センター	上郡二丁目13番14号	※	直営	134	H19	18	—	○

※北保健福祉センターは民間施設内に設置



西保健福祉センター



南保健福祉センター

② 施設位置図

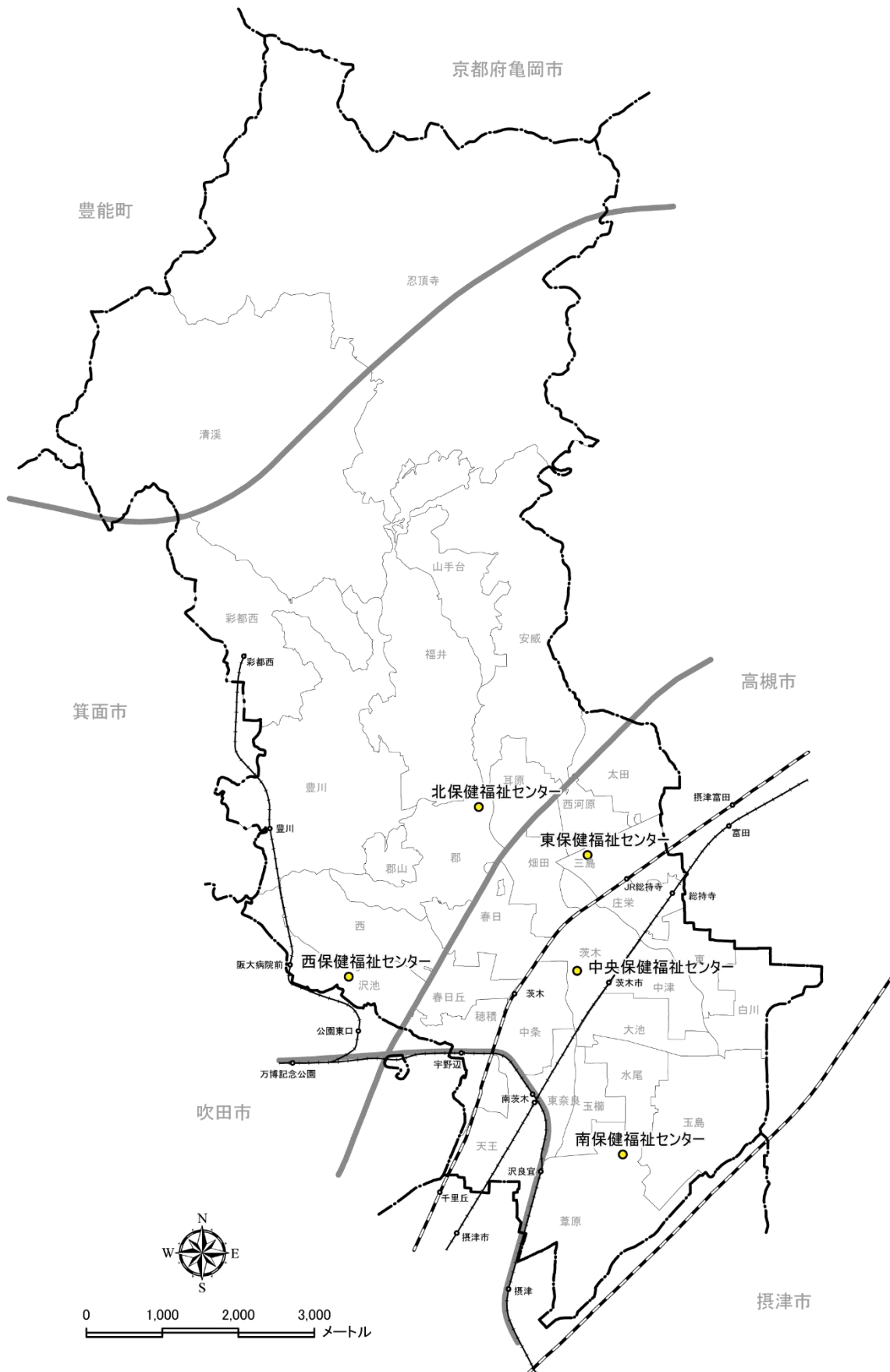


図 3-2-60 対象施設位置図（その他福祉施設）

③ 施設に関する総コストの状況

令和6年度（2024年度）の施設に関する総コストをみると、北保健福祉センターを除く4施設で約4千万円以上となっています。

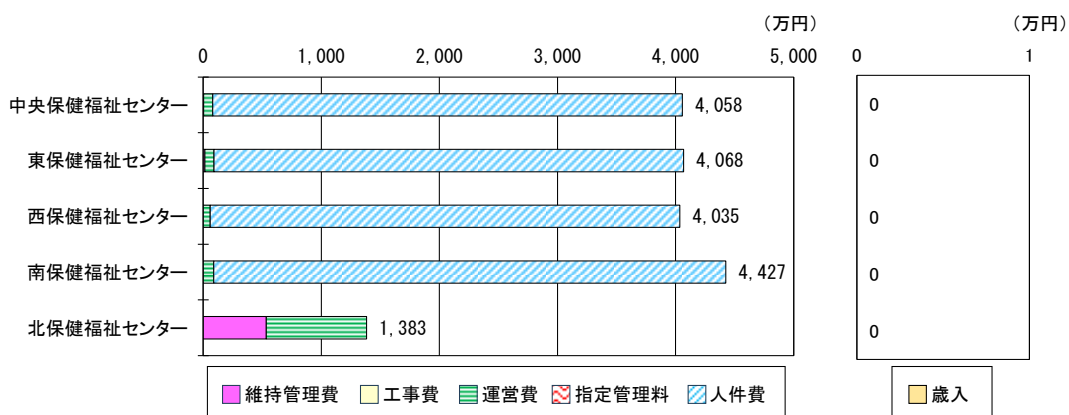


図 3-2-61 施設に関する費用と内訳（令和6年度（2024年度））

④ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、中央保健福祉センターでは約26万7千円、東保健福祉センターでは約30万円となっています。

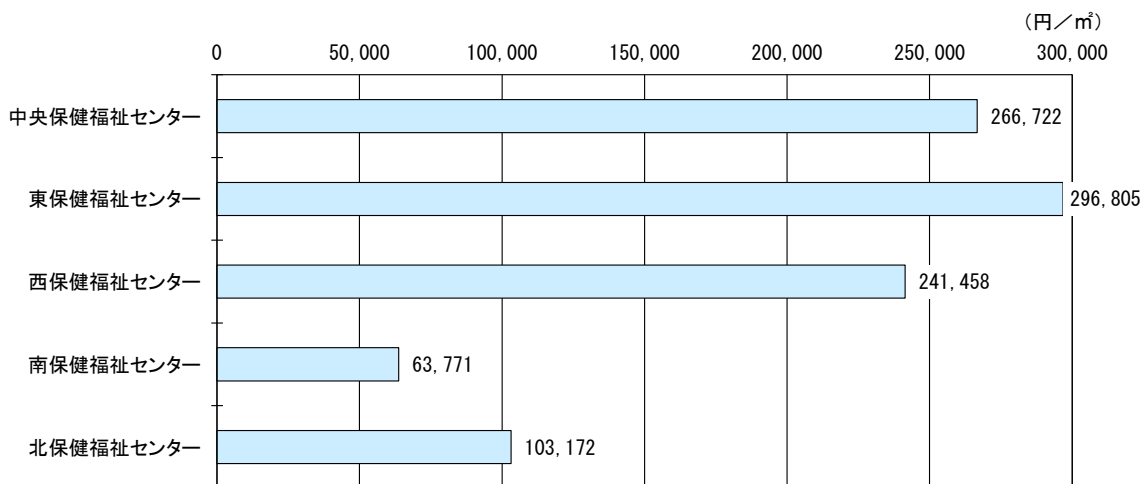


図 3-2-62 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））